J-net
熟年ネット・ひたち

熟年

「シニアライフを
心豊かに生きる」ために
「仲間、生きがい、ひたちを
愛する心」を大切に
「感謝し感謝される楽しい活動」

第 20 回総会

コロナ禍に打ち勝って臨む
令和3年度活動計画承認

コロナ禍の影響で令和3年度総会が延期となったが、7月8日、女性センターで会員・会友35人（75％）の出席のもと、開催された。

始めに、山野前代表から昨年度のシニア講座中止、楽習会の一部中止などあったが、会員の積極的取り組みに対して謝辞と、J－netの今後の活発な活動を期待する旨、挨拶があった。なお、今年度は役員改選で共同代表制が提案され、活発な討議が交わされた。

主な内容として、昨年度の活動実績と決算報告、今年度の活動計画と予算案の説明が、各担当者から報告され審議された。役員改選の共同代表制についてはいろいろな意見もあったが、提案説明と議論を深め多数決で承認された。コロナ禍の影響で今年度活動計画に不確定な要因もあるが、工夫しながら進めることを参加者全員が確認し、盛会のうちに終了した。

第20回J-net総会の会員・会友の参加者

本年度役員・リーダー

共同代表（担当リーダー）
畑山和子（シニア講座）
井上和美（楽習会）
竹本講治（広報）
小林信幸（事務局）

会計監査
鈴木百合子、五月女五美枝

女性センター友の会
山中かよ子、小澤ひろみ

役員会メンバー
畑山和子、井上和美、三ツ井義弘
小林信幸、竹本講治

自主グループ・リーダー

ウオーク会　佐藤一男
オカリナハート　畑山和子
J＆Bグループ　山中かよ子
河原子海岸清掃グループ　小林信幸
笛の会　小林信幸

各グループ活動計画

シニア講座グループ

コロナ禍で昨年は実施できなかったが、本年度は9月から11月の3カ月間、全6回で開催することになった。前回までの午後の講座を午前に変更、受講者の皆さんに満足いただけるよう、短時間でも内容の濃いものにしたい。

楽習会グループ

楽しく有意義な活動テーマを決め「皆で決めよう活動計画」での決定に従い、極力希望に沿って担当者を割り振り、活動計画書を作成。

皆が楽しめる楽習会を目指していきますので、会員・会友の方々のご協力をお願いします。

広報グループ

新Webソフトを採用し、J－netホームページを6月にリニューアルした。引き続き外部に向けて積極的に情報発信を行う。また、会報については5月号を休刊としたが、11月号、新年号の発行を計画し、会員同士のコミュニケーションの一助とする。

事務局グループ

事務局業務の確実な実行、企画委員会の活性化を図ります。特に、企画委員会はJ－netの要であり、委員同士のコミニュテケーションが重要です。コロナ禍が早く収束され懇親会を行える様にしたい。また、会員・会友に対する情報の伝達、会の円滑活動のバックアップなど、方法を考えながら実行していきたい。

小林
事務局リーダー

竹本
広報リーダー

井上
楽習会リーダー

畑山
シニア講座リーダー

第20回J-net総会で新しく選任され、ご挨拶されたJ-net共同代表の皆さん

令和3年度 楽習会年間計画について

令和３年度第１回楽習会６月 10 日開催の「井戸端会議（１）」で「より楽しく、やりがいのあるテーマを探ろう」との課題のもと、数多くの提案をいただき、６月 24 日開催の「皆で決めよう令和３年の年間活動計画」にて、楽しく有意義な活動を目指してとの観点から、楽習会のテーマは、コロナ禍で前年度中止となった 10 件を引き継ぎ、新たに 10 件を選出し 20 件を決定した。

選出に当たっては、例年と異なる方法で、参加者の 40%以上の賛同を得られたテーマを採用することにした。これはテーマ担当者の負担軽減を考え、楽習会の回数を減らす、賛同が少ないテーマは採用しないなどの意見を考慮して、制限を加えたものである。

テーマ担当は、各自３件の担当希望テーマ（うち１件纏め者）を選んだ結果を楽習会グループで極力希望に沿って割り振り、総会資料「令和３年度楽習会年間活動計画（案）」に纏め、総会において審議いただいた。

楽習会の今後の進め方は、会員の高齢化が進み、健康上の不安、家庭環境の変化などにより、テーマ担当希望辞退者が増え、一人当たりのテーマ担当回数が増える可能性があり、楽習会グループとして負担低減策の検討を進めていく。　　楽習会グループ　（井上 和美）

回	月/日	楽　習　テ　ー　マ	講　師	内　容　＆　備　考
0	後報	一泊懇親	—	仲間づくりを一層進める集いを
1	6/10	井戸端会議（1）	—	より楽しく、やりがいのあるテーマを探ろう
2	6/24	皆で決めよう年間活動計画	—	楽しく有意義な活動を目指して、テーマ決定
3	7/8	第 20 回総会	—	コロナ禍での活動を話し合う
4	7/22	日立を学び、我が街に誇りを持とう	田切美智雄氏	東日本大震災から 10 年-大地の動きは
5	8/5	高齢者ドライバーの心得	日立警察署	高齢運転者の陥るミスを学び、事故ゼロを目指す
6	8/26	観音院を訪ねて講話を聴く	観音院住職	観音院の壁画を楽しみ、住職の話を聞く
7	9/9	コロナとは何ぞや		コロナ禍を学ぶ
8	9/23	「青天を衝く」と水戸藩の歴史		大河ドラマの背景を学ぶ
9	10/7	水戸工場見学と海浜公園散策		超高速エレベータ見学、海浜公園コキア
10	10/21	井戸端会議（2）	—	気ままなおしゃべりを楽しむ
11	11/11	新設日立オリジンパーク見学		新設日立オリジンパーク見学
12	11/25	県政出前講座	県職員	茨城をもっと知ろう
13	12/9	長久保赤水を学ぶ		高萩出身の日本地図作成の先駆者を知ろう
14	12/16	年末交流会	—	親睦を深め、新たな活動の源としよう
15	1/13	賀詞を交換し、新年を寿ぐ	—	新しい年をみんなで祝い楽しむ
16	1/27	井戸端会議（3）	—	楽しく、やりがいある楽習会テーマを探ろう
17	2/3	高齢者向けの健康教室		高齢者の健康講座
18	2/24	皆で決めよう年間活動計画	—	楽しく有意義な次年度のテーマ決めよう
19	3/10	音楽観賞会	—	懐かしい思いでの曲を楽しむ音楽観賞会
20	3/24	楽しく日帰り研修旅行	—	ビール工場見学、名所旧跡などを訪ねる

注記:「一泊懇親」は、何時でも誰でも提案でき、担当者を中心に開催できるものとする。
開催日は開催月を問わず、第１、５木曜日の都合の良い日を設定できるものとする。

楽　習　会

井戸端会議（1）　（6/10）

昨年はコロナ禍で令和２年の活動開始は６月になり、シニア講座は中止、年末交流会、賀詞交歓会、バス旅行などの多くの学習会テーマを実施できなかった。

本日ようやく再開した楽習会もマスク着用し、３密を回避し、令和３年度のテーマ提案を４グループに分けて出し合うこととした。目安については、規模・密度を考慮し、負担の少ない内容で望み、各グループとも活発な提案がなされた。

全員がワクチン接種を終え、気軽に参加できる活動計画にしたい。　参加者 26 人

（小林 信幸）

ふるさと日立を学ぼう　（7/22）

コロナ禍の影響で 10 カ月ぶりに講座形式の楽習会を開催した。今回は継続テーマ「日立を学び、わが街に誇りを持とう」のシリーズ第一弾として企画し、「東日本大震災から 10 年 ― 大地の動きは」のテーマで日立市郷土博物館特別専門員・茨城大学名誉教授田切美智雄氏にご講話をお願いした。

東日本大震災から今年は 10 年経過となり、前半は地球規模の地殻変動から４つのプレートが入り組んだ日本列島を取り巻く地殻変動、とりわけ、東日本の陸地側と太平洋側の海底の動き（水平変動）について解説があった。後半も震災後の最新の各種観測データや地殻の変動を根拠に地域を絞り、福島から茨城に伸びた棚倉断層帯など、茨城県（日立市）を取り巻く地震発生の確率について解説があった。まとめでは、かって日立が地震の極めて稀な地域であったが、震災から 10 年が経過し、震災当時の地盤沈降・隆起の変化から震災前の状態に回復しつつある一方で、地震の発生エネルギーが徐々に蓄積されているとの科学的根拠や最新の観測データも示され、「日本列島はどこでも大きな地震に見舞われる可能性が高く、茨城県、特に茨城県沿岸部は日本一確率が高い。地震対策と心の準備をしておきましょう」と話された。

田切氏は、「シニア地域活動入門講座」でカンブリア紀層と郷土日立のご講話をいただいており、地質・地震学の観点から地域に密着した「日立を知る」ことの継続テーマに相応しい楽習会であった。

参加者 25 人

（竹本 講治）

自主グループ活動

J＆Bグループ　手作りおもちゃで笑顔を！

子どもの好奇心を育むには、どのようなおもちゃに興味を示すか見極めながら、ワクワクドキドキし“もっとやりたい”との経験をたくさんさせてあげる後押しをしていく事です。

私たちＪ＆Ｂグループの「役立ち感」は、育児中の親御さんとのコミュニケーションを通して、自分は役に立ち“当てにされている”という実感です。子育て支援グループの活動で、子どもの素晴らしい笑顔に癒され、期待に応えようと努力するのは、まさにこの役立ち感があるからです。貴重な機会を得、充実した喜びを感じつつ活動しています。　（山中 かよ子）

J-net・オカリナハート　七夕コンサート

「元気 café すけがわ」の依頼により７月７日、七夕コンサート「心にハミングを」というイベントに参加、コロナのため人数制限があり４人での演奏となった。

参加メンバーによる練習が十分できない状況下で、満足のできる演奏とは言えなかったが、３密を避けた席でお食事やお茶をしながら聴いてくださったお客様たちからは「とても楽しかった」と好評をいただき、ホッとした。

（畑山 和子）

河原子海岸清掃グループ　そろり活動再開

ワッペン

私たちのグループはコロナ自粛要請で、１月～３月まで活動休止していました。幸いにもグループ員の中には感染者いなかったので自粛解除後、４月より月２回の清掃活動を再開しました。

「社協だより」のグループ募集の広告を見て、４月から女性１人が入会してくれました。

通常の活動のほかに、５月 30 日（ごみゼロの日）、河原子北浜海岸での「Change for the blue」イベント（ワッペン）に参加し、日立サーフィン連盟と一緒に清掃活動を行いました。海をキレイに！　（小林 信幸）

笛の会　演奏会に向け練習中

笛の会はコロナ禍で演奏を披露する機会が無くなり、練習のみになりました。月６回練習行っていたものが月２回の練習です。

メンバー が１人増えました。J-net のホームページを見て入会してくれました。フォルクローレが好きで、楽譜も書いてきてくれます。演奏曲のレパートリーが増え、楽しくやれそうです。

コロナ禍が収束すれば、元のように演奏活動ができることと思います。良い音色を目指し練習していきたい。　（小林 信幸）

●● インフォメーション ●●

「シニア地域入門講座」（9～11 月）

月/日	内　　容
9／8	開講式・オリエンテーション・基調講話 「日立の活性化について」（原田実能氏）
9／22	わが街日立の魅力再発見講座１ 講話「日立市民文化遺産」（綿引逸雄氏）
10/13	ミニシンポジュウム　～実践者のお話～ 「身近な地域で支え合いの活動を」
10/27	和が街日立の魅力再発見講座２ 講話「工都日立のルーツを学ぶ」（大畑美智子氏）
11/10	わが街日立の魅力再発見講座３　日立市内巡り （日鉱記念館、共楽館、日立オリジンパーク）
11/24	閉講式 修了交流会

第２・４水曜日 10:00～12:00　　福祉プラザ 他

企画委員会だより（1～7月）

審議事項の主なものを掲載します

１月　1）コロナ禍により企画委員会中止
２月　1）コロナ禍により企画委員会中止
３月　1）１月～５月楽習会中止
　　2）本年度学習会テーマの提案（６/10）
４月　1）総会資料の事前検討審議（令和３年度予算）
５月　1）総会資料の事前検討審議（主に決算、予算）
　　2）平田順一氏ご逝去（５/３）報告
６月　1）総会資料事前審議
　　2）代表退任と共同代表案を審議
７月　1）総会（７/８）第 20 回総会を実施
　　2）令和３年度年間活動計画を承認

コロナ禍で想い、考えたこと(4)

多くの国民の「中止・延期」の意見の中、コロナが収束しないまま、無観客とはいえオリンピック・パラリンピックが開催されることになった。来日が始まった外国選手団の中に感染者が居たとのこと。メディアや関係者に課されている感染防止ためのルールも守られていない場面が目撃されているようだ。総理大臣は「バブル方式で安全・安心のオリンピック」と胸を張っているが、ワクチン２回接種率が国民の２割程度、感染しやすいデルタ株の割合が増えてきている中、閉会式後の日本の状況はどうなっているのだろうか。（７月 17 日）

（畑山　和子）

リレー随筆

毎朝のラジオ体操で元気に　　片寄 須賀子

昨年から新型コロナウイルスのせいで家にいる時間が長くなり、日々、健康に良いことがないかと考えていた時、２月の市報で「ラジオ体操」の記事を読んだのがきっかけでラジオ体操を始めました。現在まで５カ月続けていますが、楽しくまた健康維持にも大変良いと感じています。３月の血糖値検査の数値は6.4で、６月の検査でも6.4を維持しており、効果を実感しています。

朝の５分間、エネルギーの充電に大変良いです。朝のさわやかな空気を体いっぱいに受けて１日が始まり、コロナに打ち克つエネルギーが湧いてきます。このラジオ体操は、日立市の出身で 80 年前のベルリンオリンピックに出場した遠山喜一郎さんの発案だそうで、とても考えて作られていると思います。「背伸び」から始まり「深呼吸」まで 13 のパターンを５分に纏めてあり、理にかなっていると感じます。

毎日続けていると小学校の夏休みを思い出します。毎朝、ラジオ体操の歌が流れる校庭に集まり、ラジオからの声に合わせてみんなで「１、２、３、４・・」と体を動かします。出席ノートにマルを付けてもらうのが楽しみで、毎日休まずに通ったものでした。

これからも毎朝５分間の体操を続けていきたいと思っています。

訃報　故平田順一氏のご逝去を悼む

令和３年５月３日、平田順一さんが急逝されました。享年 76 歳でした。

平田さんは、平成 14 年（2002 年）J-net に入会されてから 19 年にわたり J-net で活動されてきました。その間、役員、楽習会リーダー、企画委員などを担当され、その緻密な感性と、正道を突き進む気概のもと、会を盛り立てていただきました。

これからも、その力を存分に発揮されリードしていただけるものと期待しておりました。誠に残念です。故人のご遺徳を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

【編集後記】新型コロナウイルス禍の影響を受け、今年度も早々から活動を休止した。本会報も５月号を発行休止せざるを得なかった。ようやく７月８日に総会を開催、楽習会もスタートした。自主グループも活動を再開し、シニア地域入門講座は９月から開講予定で準備が進んでいる。３密回避など感染対策の徹底を継続していきたい。

コロナ感染の再拡大とワクチン接種が進む中でオリンピックが始まった。前回の東京五輪の熱狂を知る者には無観客での開催は意義も半減だが、今大会が無事に終了することを祈りたい。　（編集子）

発　　行：熟年ネット・ひたち
　　共同代表　竹本 講治
編　　集：広 報 グ ル ー プ
住　　所：〒316 - 0004
　　日立市東多賀町５ - １ - ６
E-mail　：jnet-hitachi@jneth1.com
URL　　：https://jneth1.com

J-net 山野前代表の退任ご挨拶

第 20 回 J-net 総会で
ご挨拶される山野前代表

令和３年度新体制に関して、総会出席者のご承認を得ました。新しい体制での J-net 運営に、ご協力いただくようお願い申し上げます。

代表退任に当たり一言ご挨拶申し上げます。

私は J-net 主催の平成 13 年度シニア講座を受講し、会員となりました。当初は面白そうな講座や催しに参加し、定年後の過ごし方の模索をしておりました。役目をいただいた時は、J-net ルールに従い相応の勤めを果たして来ました。その間、私より遅く J-net に参加された方の多くが各役目のリーダーや役員に就任され、J-net の基盤作りに貢献されました。

私はと言えば、J-net の楽習会を楽しみながら百年塾推進委員、ネットワーク部会副部会長、百年塾主催市民カレッジ推進委員、ならびにカレッジ１期生として受講など、多くの仲間と活動を続けるチャンスを得ました。その仲間とは、今も忌憚なく飲みかつ話し合う仲間として交流を続けております。

J-net ではまだその当時、J-net 単独（社協との共催以前）で開催しておりましたシニア講座リーダーを平成 18 年に勤めました。平成 19 年、掛札代表がシニア講座を J-net 単独開催から日立市社会福祉協議会との共同開催に舵取りされ、当時のシニア講座担当者 12 人は代表に公的機関に頼らずとも自分たちで運営できると猛反発し、全員が講座担当を辞退しました。その仲間とは、その後長く ET（Eating & Talking）会と称して交流を続けました。振り返ってみるに、シニア講座は掛札代表の社協共催策は正解であったと思います。

楽習会との関りは、平成 22 年に突然前任のリーダー平田順一さんからの引き継ぎ指名によります。楽習会はすでにシステム化されており、それに従い進めました。以来、平成 29、30 年と他のメンバーにお願いした時もありましたが、今年度より井上さんに交代するまで楽習会リーダーを勤めさせていただきました。会員全員が対等平等に役目を推進するようシステム化を続け、誰でも容易に楽習会が進められるようにしました。マイナス面として枠にはまった活動になったように思います。

J-net 代表は、青天の霹靂と言うべきか、副代表を仰せつかってはいましたが、代表就任は思いもよらないことでした。平成 26 年掛札代表が突然病で倒れられ、代表代行という形での就任となり、それ以後の 7 年間務めることとなりました。この間、会員の皆さんには多くのご支援をいただき、何とか役目を続けることができました。

私は掛札代表の如き、「熟年ネット・ひたち」に対するビジョンや情熱を持ち合わせておりませんでした。ただ「シニアライフを心豊かに生きる」ために「仲間、生きがい、日立を愛する心」を大切に「感謝し感謝される楽しい活動」という理念には大賛成でした。

会員の皆さんには、社会から受ける恩恵より社会へお返しするものが僅かでも多い人生にしましょうと訴え、知恵も大切ですが、汗はもっと大切ですとお願いいたしました。

一人では難しいが、シニア講座、楽習会、自主グループ活動は、仲間で社会へ恩返しできる活動が比較的易しくできるとも訴え続けました。

J-net を取り巻く環境は、従前の活動を続けるのが難しい局面となりました。現在の J-net 理念に基づく活動が続くことを願いながらも、高齢化に即し、楽しく余裕ある活動が続くよう新執行部に期待します。

これまでの会員の皆さんのご協力・ご支援に感謝し、退任の挨拶とさせていただきます。

令和３年７月８日　　J-net 前代表　山野 邦雄

山野前代表の想い出写真より

「女性センター祭り」で J-net パネルの説明

「シニア地域活動入門講座」で受講生との交流会